

# 同友ごてんば速報版

県事務局御殿場支部担当 佐藤 靖真

## <第291回> 5月支部例会

### 『社員のイキイキ輝く姿を夢見て』

～ 大企業での勤務経験を反面教師に、人を活かす経営への気付き～

〔報告者〕トマル電気工業株式会社 代表取締役 都丸 亮一 氏  
埼玉同友会 戸田蕨地区会 会長 共同求人委員会 副委員長



#### <報告者の都丸氏>

5月13日(水) 第291回 エピ・スクエアにて5月支部例会が開催されました。

報告者は、埼玉同友会会員トマル電気工業株式会社 代表取締役 都丸 亮一 氏に報告をしていただきました。

#### トマル電気工業株式会社へ入社決意

都丸氏は大学卒業後、大手自動車メーカーへ入社。生産技術部門で設備計画(省力化)等を専門としていました。しかし現場の人間が努力した成果なのに現場の人間が評価されるのではなく、なぜか上司が評価されてしまう。その現状に虚しさ、仕事に対する熱意が薄らいでいくのを感じたそうです。同じ時期に、都丸氏の父親の経営している会社で事業承継を考えていると母親から聞き、サラリーマン時代の経験を活かして経営者として自分の思いの入った会社を創ろうと会社の存続と発展をさせる事を決心し、トマル電気工業株へ入社します。

#### 父親のワンマン経営と真っ先に行った求人

実際に入社すると、父親のワンマン経営が目立ち、与えられた仕事さえしっかりとやっていたらいい、という雰囲気社内を感じられたそうです。このような中で、まずは求人と社員教育から取り掛かります。単なる労働力の確保ではなく、会社の事を真剣に考えてくれる仲間を求め、求人を行いました。1人前になるには10年かかる。新入社員が入って2~3か月で即戦力になるとしたら、その会社の技術は低い。能力の高い社員を育てるには、じっくりと社員を育てることが必要と仰っていました。

#### 若い新入社員がもたらしたメリット

会社内では当たり前と感じての行動・風景に違った角度から問題提起をしてくれた事、社内の雰囲気が明るくなった事、またベテラン社員が自身の子供の様に手を掛けて勉強会をすすんで開き、技術の底上げが出来たそうです。

#### 社員がイキイキと輝く時

社員がイキイキと輝いて仕事をしてもらうには、まず経営者が社員の意見を聞く事。社員が自分に注目してもらっていると感じてもらう事が大切であり、最終的な責任は社長がとればいい。それまでの過程は社員にまかせ達成感を感じてもらう。やりきった時の社員のイキイキとした顔は、経営者としても嬉しいと仰っていました。

総評 高田副支部長より「学んだことを明日から行動できるか? できないか?」行動すれば、明日が大きく変わるかもしれない。と学んだ事を実践する大切さをご自身の経験をふまえてお話いただき、5月例会が終了しました。